

(別紙)

(評価:◎前年より大きく進んだ ○実施 △前年と変化なし ×実施できなかった ー完了済)

NO	方向性	基本計画における方策	分類	令和2年度の目標	令和2年度実施状況	評価
1	新規	マイ食器, マイボトルの利用	発生抑制 (リデュース)	ホームページ・twitter等にてさらなるマイ食器, マイボトルの利用の啓発を行います。	市役所内の会議で, ペットボトル, 紙コップの提供の廃止を継続しています。	○
2	新規	「事業系ごみハンドブック」の発行	適正処理	令和2年4月に市内事業者へ事業系ごみハンドブックを配布します。	事業系ごみハンドブックを令和2年7月に配布しました。	○
3	新規	小型家電及び乾電池回収ボックスの設置	再生利用 (リサイクル)	ホームページ・twitter等にて小型家電のリサイクル等を周知します。	令和2年12月より, リネットジャパンリサイクル株式会社と提携し, パソコン, 小型家電のリサイクルを開始し, 広報でも周知しました。	◎
4	拡充	マイバッグの利用	発生抑制 (リデュース)	各種市民向けのイベントの機会を活用し, マイバッグキャンペーンを実施するとともに, 阪神7市1町とも連携し, 周知啓発を行ってまいります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より, マイバッグ配布イベントや, マイバッグの配布を行うことができませんでした。	×
5	拡充	再生資源集団回収活動の推進	再生利用 (リサイクル)	ホームページ・twitter等にてさらなる制度の周知・啓発を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大により事業者によっては, 古着等を回収しなくなるケースが発生したため, 集団回収を行っている全団体に, 芦屋市で集団回収を行っている業者の一覧を配布しました。令和3年1月末現在団体数181 (前年度3団体増加)	○
6	拡充	「スリム・リサイクル宣言の店」の推進	発生抑制(リデュース) 再使用(リユース) 再生利用(リサイクル)	ホームページ・twitter等にてさらなる制度の周知・啓発を行います。	事業系ごみ適正処理・ごみ出しルール周知の際, 併せて「スリム・リサイクル宣言の店」登録の協力要請を行いました。令和3年1月末現在64店舗(前年度3店舗減少)	○
7	拡充	排出事業者責任の徹底	適正処理	一般廃棄物収集許可業者とも連携し, 市内事業者のごみ出しルールの徹底を推進します。	事業所向けのアンケートに, ごみ出しの方法を記載し市内事業所に配布しました。事業系ごみについても指定ごみ袋の検討をはじめました。	○
8	拡充	ごみ処理に関する情報の提供	—	ホームページ・twitter等において, ごみの減量化・再資源化のための情報発信をさらに充実させます。	ホームページ・twitterで情報を発信しています。また, 令和3年2月前半に広報番組を放映しました。	○
9	拡充	「家庭ごみハンドブック」「ごみ収集カレンダー」の発行	再生利用(リサイクル) 適正処理	令和2年3月に発行した「家庭ごみハンドブック」の内容を広報紙, ホームページ・twitter等で繰り返し案内することで, 12分別やごみ出しルールを周知します。	家庭ごみハンドブックを令和2年3月に発行し全戸配布しました。	—
10	拡充	食材や日用品の最後まで使い切り	発生抑制 (リデュース)	引き続き, 食品ロス削減の一環として, フードドライブのイベント実施を行うとともに, コープこうべの店舗において恒常的なフードドライブを実施します。	令和3年1月13日より市内コープこうべ3店舗で恒常的なフードドライブをはじめました。また, 広報番組を通じた啓発や, 社会福祉協議会と連携した福祉の側面での活用など, 幅広い周知に努めました。	◎
11	拡充	ごみの展開検査の実施	適正処理	引き続き, 搬入されるごみの展開検査を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より, 安全面を考慮しながら実施し, 実施結果もふまえて指定ごみ袋の導入を検討しています。なお, 緊急事態宣言中は実施を停止していました。	○
12	継続	過剰包装の防止	発生抑制 (リデュース)	ホームページ・twitter等により, 取組事例を紹介するなど引き続き啓発します。	「事業系ごみハンドブック」等により, 過剰包装の防止への協力を要請しました。	○
13	継続	製品の長期使用	発生抑制 (リデュース)	ホームページ・twitter等により, 製品の長期使用例を紹介するなど引き続き啓発します。	ホームページで引き続き啓発しています。	○

(取組:◎重点 ○継続 ー完了)

令和3年度の展望	取組
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて, 必要な情報, 求められている情報を発信します。	○
事業系指定ごみ袋導入年度に作成します。	—
リネットジャパンリサイクル株式会社との提携を引き続き周知します。	○
新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら, 可能であればイベントを実施するとともに, 周知啓発します。	○
集団回収の状況をみながら, 集団回収可能な業者の一覧を配布するなど, 継続されるようにすすめます。	○
事業所向け指定ごみ袋導入等アンケートの項目に市民からの回収等をいれており, アンケート結果も踏まえた取組みをします。	○
事業系指定ごみ袋の導入の検討とともに, 事業系のごみ出しルールについて検討します。	◎
指定ごみ袋導入等アンケートの結果もふまえて, ホームページ, twitterで啓発します。	○
家庭ごみハンドブックは, 指定ごみ袋導入等アンケートの結果もふまえて, 次回改定時に全面改訂します。	○
引き続き, 食品ロス削減の一環として, フードドライブのイベント実施を行うとともに, ホームページ, twitterで情報を発信します。	○
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら, 展開検査を実施します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて, 必要な情報, 求められている情報を発信します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて, 必要な情報, 求められている情報を発信します。	○



(別紙)

(評価:◎前年より大きく進んだ ○実施 △前年と変化なし ×実施できなかった ー完了済)

NO	方向性	基本計画における方策	分類	令和2年度の目標	令和2年度実施状況	評価
14	継続	リユース活動の実施	再使用 (リユース)	ホームページ・twitter等によりイベント情報を紹介するとともに、リユースフェスタや環境フリーマーケットの機会を通じ、ごみの減量化や再資源化など環境への意識の向上を図ります。 ○リユースフェスタ(年2~3回) ○環境フリーマーケット(年2回)	新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが開催できないため、従来より方法をかえ実施しました。	○
15	継続	環境に配慮した製品等の購入	再生利用 (リサイクル)	ホームページ・twitter等により、環境に配慮した商品を紹介するなど啓発します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
16	継続	生ごみ堆肥化容器の活用	発生抑制 (リデュース)	ホームページ・twitter等により、段ボールコンポスト等を紹介するなど引き続き啓発します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
17	継続	生ごみの水切り	発生抑制 (リデュース)	ホームページ・twitter等により、ごみの減量方法を紹介するなど引き続き啓発します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
18	継続	12分別の徹底	再生利用 (リサイクル)	ホームページ・twitter等により、よくある分別の問い合わせを紹介するなど引き続き啓発します。	分別方法に関するお問い合わせが多い品目について、広報紙とホームページにて掲載しました。また、本年度より家庭ごみカレンダーに分別方法を記載するようにしました。	○
19	継続	環境に配慮した製品の設計、販売及びサービスの実施	発生抑制(リデュース) 再使用(リユース) 再生利用(リサイクル)	ホームページ・twitter等により、参考事例を紹介するなど啓発します。	ホームページで引き続き啓発しています。	△
20	継続	環境学習の実施	—	・令和2年度より環境処理センターの見学会を出前講座に追加します。 ・夏休みに親子向け見学会を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より小学生向けの施設見学を中止し、youtubeでの環境学習を実施しました。なお、希望する小学校には説明書類を作成し送付いたしました。施設見学については秋に1団体実施しました。	○
21	継続	ポスター展の開催	—	市内の小・中学生を対象に「環境問題・ごみの減量化・市民マナー」をテーマとしてポスター作品を募集・展示します。 ○12月頃実施予定	市内の小・中学生を対象に「環境問題・ごみの減量化・市民マナー」をテーマとしてポスター作品を募集し、12月に2週間展示しました。	○
22	継続	持ち去り防止パトロールの実施	—	重点地区等を精査することにより、より効果的にパトロールを実施します。	重点地区等を精査することにより、より効果的にパトロールを実施しました。	○
23	継続	持ち込みごみ予約制の実施	発生抑制 (リデュース)	現状の体制で継続します。	予約受付の段階で、センターに搬入可能なもの・不可能なものをご説明することで、ごみの適正処理・排出抑制に取り組みました。	○
24	継続	適正な料金体系の検討	—	指定袋の導入の検討状況に応じて、必要が生じる場合は、処理料金も検討します。	令和2年4月1日より、廃棄物処理手数料(持込みごみの処理料金を900円から1,080円など)に改定しました	○
25	継続	有料化の検討	発生抑制(リデュース) 再使用(リユース) 再生利用(リサイクル) 排出者負担の公平性	指定袋の導入の検討をはじめます。	指定ごみ袋の導入検討を開始し、市民・事業者向けにアンケートを実施しました。アンケート期間(2月15日~3月15日)	◎
26	継続	分別区分の見直しの検討	再生利用 (リサイクル)	現状焼却処理しているプラスチック製容器包装の分別収集について、他自治体の状況を注視します。	【兵庫県内41市町プラスチック製容器分別実績】 H31.4月:31市町 → R2.4月:31市町(変化なし) ※兵庫県の一般廃棄物処理	△
27	継続	処理センターにおける適正処理	—	排ガス中の水銀濃度が基準値を超えないよう、引き続き適正に処理を実施し続けます。	令和2年度中に排ガス中の水銀濃度等の基準値が超えたことはありません。また、水銀連続測定器を設置し、公害監視表示板に水銀濃度を表示し近隣住民の方が確認できるようにしました。	◎

(取組:◎重点 ○継続 ー完了)

令和3年度の展望	取組
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベントの実施を検討します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	○
指定ごみ袋導入等に関するアンケート結果もふまえて、必要な情報、求められている情報を発信します。	○
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、施設見学や出前講座を再開します。	○
市内の小・中学生を対象に「環境問題・ごみの減量化・市民マナー」をテーマとしてポスター作品を募集・展示します。 ○12月頃実施予定	○
重点地区等を精査することにより、より効果的にパトロールを実施します。	○
引き続き現行の水準を維持できるようすすめます。	○
指定袋の導入の検討状況に応じて、必要が生じる場合は、処理料金も検討します。	○
指定ごみ袋の導入について検討します。	◎
指定ごみ袋導入等アンケートの項目にいており、アンケート結果、国の動向等もふまえ、プラスチックの分別について検討を開始します。	◎
排ガス中の水銀濃度他、基準値を超えないよう、引き続き適正に処理を行います。	○

